

1. 策定の経緯

・各公共交通の役割に応じて、運行を継続し、持続可能な公共交通ネットワークを形成していくことを現在策定中の草加市地域公共交通計画に記載。



・近年、少子高齢化や運転免許返納者の増加を受け、市民生活の足となる公共交通はますます重要なものになっている。



・パリポリくんバスについても、地域内の移動手段として、利便性の高いサービスの提供に努める。

【各公共交通の役割(草加市地域公共交通計画より)】

公共交通	役割
鉄道	<ul style="list-style-type: none"> ・都市間を移動する骨格的な公共交通 ・他都市及び都市内拠点等への広域的なアクセス
路線バス	<ul style="list-style-type: none"> ・地域間または地域内を移動する公共交通 ・鉄道駅や主要施設等へのアクセス
タクシー	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道やバス等ではカバーしきれない地域を移動する公共交通 ・多様な利用者の個別の目的地へのアクセス
コミュニティバス	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内を移動し、路線バスを補完する公共交通 ・公共施設等へのアクセス

〔草加市地域公共交通計画→コミュニティバスの役割、施策「コミュニティバスの改善・利用促進」の大枠を記載
本ガイドライン →基本方針、運行評価方法の詳細を記載〕

→本ガイドラインを策定し、地域住民・事業者・自治体3者が一体となって支える仕組みを定めることで、パリポリくんバスを継続的に運行し、より多くの方に利用してもらえる路線を目指す。

2. 運行ガイドラインの構成案

(目次)

1 運行方針

1-1 パリポリくんバスとは

1-2 パリポリくんバスの基本方針

1-3 運行地域

1-4 運行基準

1-5 運行上の役割分担

2 運行評価

2-1 試験運行時の運行評価

2-2 本格運行時の運行評価

3 今後の展望

4 参考資料

4-1 バスが通行可能な道路幅員

4-2 草加市地域公共交通会議設置要綱 他

(概要)

・既存の路線バスとの共存、共栄を前提とし、市内全体の充実した公共交通ネットワークを確保するため、基本方針を設定。

・鉄道、路線バスの交通便益地域外を中心に設定。

・市内の公共交通の現況及び路線バスの運行状況等を踏まえ、運行間隔、運賃、運行車両等の基準を設定。

・地域住民、事業者、自治体の3者が相互に連携して継続的な運行に向けた取組を行うことを記載。

・試験運行期間中の評価方法及び本格運行に移行するまでの流れを定める。

・本格運行に移行後、運行を継続して維持するため、単年度ごとの評価を実施。運行評価の基準に応じて運行形態の見直しを行う。

・まちづくりの進展等による地域住民の移動ニーズの変化に対応するため、今後検討すべき運行形態の変更事項等を記載。

3. 今後のスケジュール

令和5年7月26日 構成案を報告(第2回草加市地域公共交通会議)

9月下旬予定 素案を報告(第3回草加市地域公共交通会議)

10月～ 内容について委員の皆様へ意見照会

令和6年1月～ 案の確定(第4回草加市地域公共交通会議)